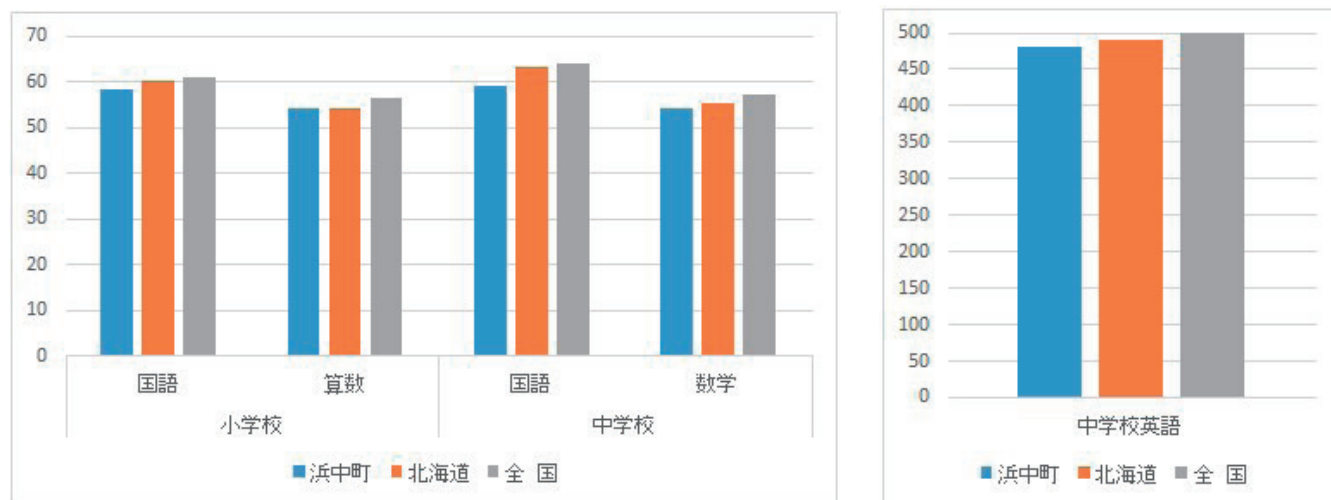


令和8年度全国学力・学習状況調査の結果

4月23日に実施された小学校6年生と中学校3年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。全国学力・学習状況調査は、学力調査と学習意欲や学習方法などを調査する児童生徒質問調査で構成されます。今年度の学力調査は、国語、算数・数学、中学校英語が実施され、平均正答率の結果は下記のとおりです。

【学力調査結果】



小学校、中学校の全教科で平均正答率が全国・全道平均に達していないという結果が出ました。児童生徒一人ひとりの学びの姿に注目し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、各学校における学校全体での検証改善サイクルのさらなる充実に向けた取り組みが必要と考えています。

本町の児童生徒の優れていた力

- 小学校国語では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力。
- 小学校算数では、単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉える力。
- 中学校国語では、目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する力。
- 中学校数学では、問題場面における考察の対象を明確に捉える力。
- 中学校英語では、日常的な話題について、話を聞き、概要を捉える力。
- 中学校英語「話すこと」では、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す力。

本町の児童生徒の課題となった問題

- 小学校国語では、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること。
- 小学校算数では、直方体の箱の形を構成する面について理解すること。
- 中学校国語では、情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解して使うこと。
- 中学校数学では、筋道を立てて考え、証明すること。
- 中学校英語では、日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ること。
- 中学校英語「話すこと」では、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用すること。

【児童生徒質問調査結果】

児童生徒質問調査について、小学校73項目、中学校80項目の中から特徴的な項目を抽出し、5つの観点でお知らせいたします。

授業改善について

(当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合、%)

質 問		浜中町	北海道	全国
授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいましたか。	小学校	67.6	79.4	77.6
	中学校	90.3	79.6	78.8
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	小学校	70.6	74.5	73.4
	中学校	90.3	70.5	70.8
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	小学校	85.3	82.4	80.8
	中学校	90.3	78.4	78.9

授業に関する質問において、中学校では多くの項目で全国平均を上回る結果となりました。「課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組む」や「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動」については、全国平均を大きく上回っています。一方、小学校では一部の項目で全国平均を下回る結果となっており、引き続き授業改善に取り組んでいく必要があります。児童生徒が自ら課題に向き合い、考え、学んだことを生かしながら、確かな知を獲得していく授業づくりを進めるとともに、一人ひとりに合った学びの充実を図っていきます。

学校の先生に対して

(当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合、%)

質 問		浜中町	北海道	全国
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小学校	97.1	92.2	91.4
	中学校	96.8	91.4	90.9
先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	小学校	91.2	88.0	87.3
	中学校	90.3	85.3	85.2

「先生は、よいところを認めてくれる」「理解していないことを分かるまで教えてくれる」割合が、小中学校ともに全国平均を大きく上回る結果となりました。本町の教職員が児童生徒に寄り添って対応していただいている結果と考えています。今後も継続して、児童生徒一人ひとりに適切な対応を心がけた教育となるように進めていきます。

自己有用感等・規範意識

(当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合、%)

質 問		浜中町	北海道	全国
自分には、よいところがあると思いますか。	小学校	79.4	84.8	85.6
	中学校	80.6	84.4	84.0
将来の夢や目標を持っていますか。	小学校	82.3	82.3	81.8
	中学校	61.3	67.2	67.6
人が困っているときは、進んで助けていますか	小学校	94.1	93.2	92.7
	中学校	90.4	90.3	90.8

自身の長所を自覚している児童生徒は小中学校ともに全国平均を下回る結果となりました。一方、人が困っているときは、進んで助けると回答した児童生徒は、小学校では全国平均を上回りましたが、中学校では全国平均をやや下回る結果となっています。今後も、児童生徒一人ひとりが自分のよさや可能性に気づき、自信をもってさまざまな場面で活躍できるよう、仲間とお互いによさを認め合うかわりを意図的に設定しながら自己有用感を高め、将来の夢や目標の実現につながる教育を進めていきます。

学習習慣について

(%)

質 問		浜中町	北海道	全国
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォン、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（2時間以上すると回答）	小学校	88.3	63.3	57.6
	中学校	96.7	79.0	74.9
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（1時間以上勉強すると回答）	小学校	38.3	46.0	49.9
	中学校	29.0	52.8	61.6

学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上勉強する児童生徒は、小中学校ともに全国平均を大きく下回る結果となっています。一方、スマートフォン等でSNSや動画視聴などを2時間以上行う児童生徒は、小中学校ともに全国平均を大きく上回っています。家庭における学習時間を確保していくことに加え、メディアとの適切な付き合い方についても考えていく必要があります。今後も、児童生徒が自ら時間の使い方を考え、学習と生活のバランスを整えながら、主体的に学ぶことのできる力を育んでいきます。また、小学校では、低学年からの机に向かう学習習慣づくりを、中学校では進路指導と学習習慣を関わらせた指導の充実を進めていきます。

ICT機器の活用について

(%)

質 問		浜中町	北海道	全国
授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。（ほぼ毎日と回答）	小学校	61.8	52.8	43.0
	中学校	100.0	61.3	55.1
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか（とてもそう思う、そう思うと回答）	小学校	67.7	71.5	69.5
	中学校	83.9	71.8	69.4
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思いますか。（とてもそう思う、そう思うと回答）	小学校	85.3	80.5	74.6
	中学校	93.5	84.4	80.0

「授業でICT機器をほぼ毎日使用している」と回答した児童生徒は、小学校で61.8%、中学校で100%となっています。これは全国平均を上回る結果となっており、ICT機器を活用した授業改善が進んでいる結果と考えています。「ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる」と回答した児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を上回っていますが、「情報を整理することができる」と回答した割合は、小学校では全国平均を下回る結果となりました。今後は、ICT機器を使うこと自体を目的とするのではなく、学習内容の理解や整理、他者に情報を伝える能力を育むためにICT機器の活用を充実させていく必要があります。引き続きICT機器を効果的に活用しながら、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」をさらに充実させていきます。